academyhills news letter vol.12
森ビルが提供する新しい知的ライフスタイル発信地

石倉洋子のグローバル・アジェンダ・ゼミナール 1月9日に第一回ゼミを開催

黒川清・政策大学院大学教授を招き グローバルアジェンダの重要性について 英語で活発な議論を交わしました

「皆さんこんにちは。グローバル・アジェンダ・ゼミナールのメインファシリテイターを務める**一橋大学大学院企業戦略研究科・石倉洋子**です。」

常にエネルギッシュな石倉先生の元に集ったのは、英文エッセイ等で選抜された、約50名のゼミ生たち。近隣にお住まいの方から、月に一度のゼミの為に地方から上京する方。年齢も20歳代から50歳代まで様々です。ビジネスセミナーには珍しく男女比は半々。職業も、まだ大学在学中の方から、医師、自営業、コンサルタント、官公庁勤務、ニュースキャスターなど、多種多様。

様々なバックグラウンドを持つ方々が集まった理由は、世界規模で解決しなければならない貧困・人権等の「グローバル・アジェンダ」に実際に取り組んでいる若手が問題点を提起し、その解決方法をディスカッションし、プレゼンするというゼミナールの趣旨に賛同し、実際にアクションを起こそうとしているからに他なりません。そのために必須なのは世界のコミュニケーションの基本である英語。石倉先生の短いご挨拶の後は、グローバル・アジェンダ・ゼミナールのアドバイザリー・ボードである、**黒川清・政策大学院大学教授**の英語によるスピーチです。

「なぜ今、グローバル・アジェンダに取り組まなければならないのか?」と、参加者の間に入って問いかけると、ゼミ生も自然に英語で自分なりの理由を答えます。ITによって世界が繋がり、他の国で起きていることも見えやすくなってきた。そもそも「国」という境界の重要性が低くなり、それよりも個人の力が強くなってきた現在、私たちの強みは何だろうか?それをどうアピールしていくのか?

次々と繰り出される黒川先生の質問は、どれも深く考えさせるもので、それに果敢に挑むかのように応えていくゼミ生たち。最後は各自1分間の英語による自己紹介。ユーモアを交え、ゼミへの参加動機や自分の仕事・趣味を紹介していく皆さんは、スピーチも手慣れたもの。こうしてあっという間の3時間は終了しました。

月に1回のゼミナールですが、実際のゼミがより密度の濃いものになるようにと、毎週石倉先生からゼミ生のみに宛てたe-mailニュースレターの発行も始まりました。世界経済フォーラムのウェブの活用方法や、英語・議論のコツ、課題を考える上で参考になる資料の紹介など、自習を進める助けになる情報が配信されています。良い師と良い仲間に恵まれ、これからの一年が充実したものになることを実感できたゼミナール初回でした。

グローバル・アジェンダ・ゼミナール第三回開催日程

ご見学も可能ですので、御連絡下さい。

日　時: **3月6日(土)10:00〜13:00**
テーマ: **世界が直面する「食糧問題」について**
ゲスト: 小暮真久（NPO法人Table for Two理事・事務局長）

日本元気塾

1年の折り返し地点を過ぎ、各塾それぞれ卒塾に向けて課題が出揃いました

講師陣の「日本を元気にする」という想いや志を共に学び、
行動することを目的に、2009年6月19日に開講した日本元気塾。
今回は各塾の卒塾課題のご紹介と共に、これまで半年間の活動をご紹介します。

米倉 誠一郎
［一橋大学イノベーションセンター長・教授］

米倉塾

卒塾課題 **"日本を元気にする"アクションプラン作り**

自分のプロフェッショナリティを発揮し、社会をよくするプロジェクトの提出。自分の力を発揮する部分を具体的に表記し、必ずタイムスケジュールを入れること。

これまでの米倉塾は

① **ビジネスイノベーション**
例：OK WaveとVenture Republic Groupについてのビジネスモデルの検討

② **ソーシャルイノベーション**
例：ビッグイシュー販売サポート体験、NPO法人育てあげネットスタッフへの教育研修、グラミン銀行訪問

③ **次世代教育**
例：大学生、高校生向けに授業を実施。『私の履歴書』を用いて自分の生き様をプレゼンし、「なぜ自分が仕事をするのか」をテーマに世界一受けたい授業づくり。

の3つの柱で活動。米倉先生は一貫して「こんな手段があります。」「こういうのやったら？」というだけではダメ。**言うだけなら誰でも出来る。**「この案だったら私はこんな形で協力が出来ます。他にも協力してくれるところがこれだけあります。だからやってみましょう」と**具体的に提示をしていくこと**にこだわって指導されており、塾生はそれを踏まえて今後の課題に取り組みます。

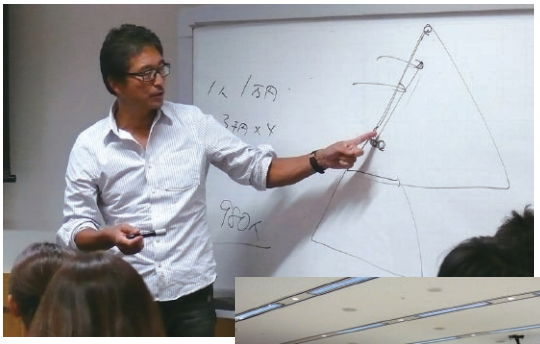
髙島 郁夫［株式会社バルス代表取締役社長］

髙島塾

卒塾課題 **「資本金1000万円までのビジネスプラン作り」**

資本金1000万円までの、人が喜び、人の役に立つ「具体的な」事業プラン作り。「どんなに自分がいい商品やサービスだと思っても、お客様は買わない自由もあることを忘れないように」

前半は、髙島さんによる講義やトライアスロンウエア・グッズの製作販売をする「アスロニア」の見学を経て、髙島流経営哲学、ものの見方、考え方を学びました。そして夏休みを挟んでいよいよ事業提



案。テーマは**「人を喜ばせるビジネス」「JAL事業再生提案」**をチーム別に分かれてプレゼンテーションしました。

- **「人を喜ばせたい」という想いは、ビジネスに必ず必要。儲けだけを追求する事業は、必ず衰退する。**
- **ビジネスを起こすことは簡単に出来ても、継続させることが難しい。事業プランの基本は緻密さ。実際に成功する人はほんの一握りでしかなく、成功より失敗のほうがはるかに多いもの。**

プレゼンテーションや、それに対する講評を通じて、実際に経営に携わる髙島さんの視点や経営哲学を知り、事業を起こし、継続することの難しさに思い至るようになった塾生達。卒塾課題ではより実践的で緻密な提案にチャレンジします。

また、ビジネスプランではなく、これからの自分の行動を考えたいという塾生は**「日本元気塾での活動を受けて今後の人生をどのように変えていくのか」**というもうひとつの課題に取り組みます。

藤巻 幸夫
［フジマキ・ジャパン代表取締役副社長］

藤巻塾

卒塾課題 **現在おかれている仕事の中で何を達成したいか。「具体的」アクションプラン**

藤巻さんを上司だと思い、いつかやりたい夢ではなく、「今から」何をするか「具体的」なアクションプランの提出

前半は**「人間力」**を鍛えるべく、藤巻さんが仕事やプライベートで出会った「仕事観」「人生観」が通じる方々をゲストに迎えお話を伺いました。そして、『言志四録』、『松陰の教え』の講義を通じ、藤巻流の哲学を体感。

中盤に**「現場力・企画力」**を磨くべく、「日本発掘、日本再発信」をキーワードに、日本産コスメ商品（ヘアケア、メイク、スキンケア問わず）の開発、既存の商品の再プロデュースをテーマにグループワークをすると共に、実際の店頭に立ち、お客様が何を求めているのか、販売する事の難しさ、大変さを体験。

また「散歩」を切り口にした課題に取り組み、実際に街を歩いて世の中の動きを捉える藤巻さんの姿勢を学びました。**なんでもインターネットで調べるのではなく、実際に行動し、人と出会うことで新しいアイデアが生まれる**ことを、身をもって感じました。

塾のプレゼンテーションも**「見え方」「説得力」**を求める姿勢。**「何を信念に仕事をしているか」「どこに着目して行動するか」「どう見せて人を巻き込むか」**を惜しみなく塾生に披露することで、塾生の本気に火をつけて巻き込んでいく「フジマキ流」を実践中です。

2010年2月以降のイベントスケジュール

*ご取材、ご参加に関して詳細はお問い合わせください。 Tel: 03-6406-6649（担当: 深町）

六本木スクール ビジネスパーソンを対象にした公開イベントです。（有料プログラム）

開催日	講座タイトル	ゲスト（敬称略）
25日［木］ 12:00～	六本木ヒルズクラブランチョンセミナ 「2010年世界経済と、混迷日本の行方」	竹中平蔵［アカデミーヒルズ理事長／慶應義塾大学教授］
26日［金］ 18:00～	グローバル・アジェンダ・シリーズ ダボス会議報告会2010	石倉洋子［一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授］ 夏野 剛［慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 特別招聘教授］ 土屋 聡［世界経済フォーラム 日本代表］
3月3日［水］ 19:00～	行政のムダを斬る「事業仕分け」の本番はこれからだ! ～行政刷新会議事務局長が目指す本当の改革～	加藤秀樹［行政刷新会議 事務局長／構想日本代表／東京財団会長］
4日［木］ 19:00～	2時間で学ぶ企画書作成基礎講座 ～内容重視の企画書作り－アイデア発想とコンセプトのまとめ方～	河合正嗣［有限会社トライアルプロモーション コンサルティング事業部 取締役部長］
4日［木］ 19:00～	オンラインビジネスセミナー 2010年スマートフォン市場の展望を聞く! ～モバイル広告ネットワークのアドモブ、John Lagerling氏が最新動向を解説～	John Lagerling［アドモブ株式会社 日本法人代表取締役社長］
6日［土］ 10:00～	石倉洋子のグローバル・アジェンダ・ゼミナール③ Mr. Masa Kogure from Table For Two	小暮真久［NPO法人Table for Two理事・事務局長］ 石倉洋子［一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授］
6日［土］ 10:00～	速習・議事録の書き方入門 会議をリードするドキュメント作成方法を身につける	石原徹哉［株式会社チェンジ 取締役］
12日［金］ 10:00～	六本木天文クラブ 天文学と占星術の不思議な関係	鏡リュウジ［星術研究家／翻訳家］ 渡部潤一［天文学者／自然科学研究機構国立天文台天文情報センター長・アーカイブ室長・総合研究大学院大学准教授］

Library Talk 六本木ライブラリー会員対象のコミュニティ イベントです。 *開催時間は全講座 19:15～20:45

開催日	講座タイトル	ゲスト（敬称略）
24日［水］	クーリエジャポンコラボレーションイベント 越境者が見たニッポン	森巣 博［作家］
3月2日［火］	デフレと不況を紐解く『会社のデスノート』	鈴木貴博［百年コンサルティング代表取締役／米国公認会計士］
4日［木］	無形の力で人間力を磨き経営力を高める ～インタンジブル経営を学ぶ～	山川和子［株式会社モンテリビエ CEO］
10日［水］	メンバーズ・サロン IT機器の±10年を語ろう!	ライブラリーメンバーがファシリテーターをつとめます。
12日［金］	「ザ・パニック:1907年金融恐慌の真相」 ～100年前の金融恐慌から何を学べるのか?～	雨宮 寛［コーポレートシチズンシップ代表取締役］ 今井章子［コーポレートシチズンシップ取締役］
15日［月］	サイエンスシリーズ 恐竜の息吹を求めて ～恐竜研究の現在、そして未来～	山川和子［古脊椎動物学者］
18日［木］	結果を出す人はノートに何を書いているのか(仮)	美崎栄一郎［『結果を出す人』はノートに何を書いているのか』著者］

※ライブラリーメンバーによるサークル活動「メンバーズコミュニティー」も随時開催しております。ご見学希望の方はお問合せ下さい。

ご取材、見学に関しての詳細はお問い合わせ下さい。

森ビル株式会社 アカデミーヒルズ事業部 マーケティングコミュニケーション 深町 友子

TEL: **03-6406-6649** FAX: **03-6406-9350**

MAIL: fukamachi@mori.co.jp URL: www.academyhills.com